

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』

(詩篇 103:2)

救い主イエス・キリストの御降誕をお祝いし、神様の御名を心から褒めたたえます。

いつも石巻宣教のためのご支援とお祈りを心から感謝いたします。

石巻渡波の三和町に建てられた会堂でクリスマスの礼拝が初めて捧げられたのは、2014年の12月です。あれから6回目のクリスマスを迎えるこの季節、講壇の脇には今年もクリスマスツリーが飾られました。ピカピカと点灯する色とりどりのライトは、仙台教会のご家族の家で飾られていた電球です。今は天に帰られたご主人は古川教会の開拓初期とともに汗した仲間でした。

さらに、石巻だけの特別なオーナメントも飾られています。それはツリーの下の方に泳ぐ4匹のお魚たちです。これは牡鹿半島の十八成浜(くぐなりはま)で、浜の仕事を震災で失ったおばちゃんたちが肩を寄せ合い、支え合いながら編んでいたエコたわしのお魚です。

十八成浜から仙台教会経由で全国の教会に泳いでいった魚たちの最後の四匹です。

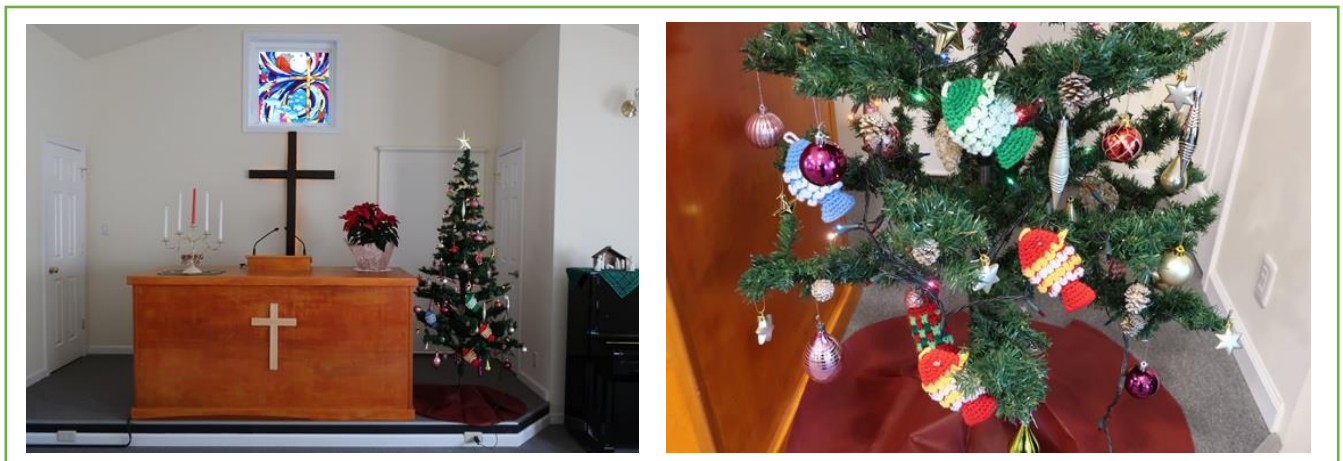
天を見あげるように、私たちのゴール目指して上向きに飾ってあります。

正面の窓に描かれた魚たちの群れも十字架に向かって導かれ泳いでいます。

窓の絵のテーマみことば「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい」(ルカ5:4)のお約束を信じて、小さな群れは渡波の方々の救いのために祈り続けています。

礼拝に集われる地元の方々は多くて9名ほど、少ない時は半分になります。まさに小さな群れですが、最近、礼拝後の時間にどのようにして教会に導かれてきたのか簡単な証しをする時を持っています。ほとんどの方は震災後の様々なキリスト教会の支援を通じてクリスチャンに接し、福音を聞いて教会に来られました。改めて神様の不思議な御業、そして世界中の教会の祈りと労苦によるものなのだ、と身の引き締まる思いです。

どうぞ、この地の方々の救いのために続けてお祈りください。



この 10 月、石巻教会は開設 5 周年を迎えることが出来ました。13 日の記念礼拝には仙台教会の吉田先生をお招きしての伝道礼拝を計画し、準備を進めてきました。

ところが、超大型台風 19 号接近のニュース。刻々と被害の情報が流れてくる前日は、天の父なる神様に祈るばかりでした。当地にも「大雨特別警報」が発令され、避難のアナウンスと同時に避難場所がテレビでも、防災無線でも流れ、避難勧告が出されました。また、スーパーではパンやカップラーメン、電池等が早いうちから品切れ状態でした。

しかし、一夜明けると、前夜の暴風雨は過ぎ去り、台風一過の快晴となりました。

幸い、教会周辺には被害がありませんでしたが、ニュースを見ると、長野や丸森の大変な状況、そして石巻周辺の浸水した地域が映し出されていました。高速道路は閉鎖、周辺道路も冠水で通行止めのニュースに吉田先生の到着に不安がよぎりましたが、教会車を運転された兄弟は石巻周辺に詳しく、前の晩は頭の中で安全に石巻に行くルートを考え、無事礼拝前に到着しました。そして、毎月 1 回来てくださるご夫妻は冠水のため、



いつもの道を二往復する位の大回りの距離を走り、なんとか来ていただきました。そのような状況の中、来ることができなかった地元の方々も多かったのですが、この台風で同窓会が中止となり出席できた方や「行くのは無理だ」と電話をくださった方が新しい方と一緒に来られたりもしました。

吉田先生は、ルカの福音書 15 章 11～24 節から「愛なる神」と題し、みことばを取り次ぎ、愛の神様について語っていただきました。

皆さん、うなづくように聞いておられました。震災から 9 年、色々な経験をされてきた方々ばかりですから、一見落ち着いてきているようでも、会話のはしばしには失ったものの大きさと痛みがにじみ出てきます。その心に「神の愛」が届いて、心の癒しが与えられ、イエス・キリストにある希望を見出してくださることを願うばかりです。

愛餐の時も、人数的には少なかったのですが、むしろゆっくり話しをすることができました。

大勢の方が来られるのは感謝なことですが、せっかく来ていただいたにもかかわらず、挨拶もそこそこで話も出来ずに終わってしまった時などは、「私は一体何をしているのだろうか」と自問自答してしまうのです。

出席者は少なくても、温かい雰囲気での礼拝と愛餐の時を持つことができ、感謝でした。

午後は、用意していたお祝いの赤飯を持って、教会のご近所や来ることができなかった方々を訪問しました。すると、午前中は浸水の後始末に追われていたとお聞きし、これでは教会に行くどころではなかったことが分かりました。皆さん憔悴しきった様子でしたが、訪問をととても喜んでいただきました。

後日お聞きしたのですが、いつもお茶っこ会に来られている御婦人も、いつものように朝起きて外に出ようとしたのですが、道路は冠水し、結局二日間外に出られない状態ではなかったようです。

震災後にかさ上げをして、家を再建された方が多いのに、ここまで浸水するとは皆さん思ってもみなかったようです。

川でもないのに山から溢れ流れてきた水、用水路から溢れた水、田んぼ一面をおおう水、こんな所がなぜ、という道路が冠水で通行止めになっていたりと、地域をまわって初めて様子が分かりました。改めて、教会の外に出て行き、地域を知る重要性を教えられました。

石巻は震災によって地盤沈下が起こり、道路を無理やりかさ上げたために、最近道路から水が流れ落ちて住宅地の浸水につながるのだ、と地元の方が言っておられました。また、教会の近くを通る 398 号線女川街道は、教会から歩いて 10 分ぐらいの所にある生協付近から水産高校のあたりまで浸水し、大変だったことも分かりました。

さらに、さくら町復興住宅付近の田畑は水没し、まるで湖のようになっていました。

このような状況が分かれば分かるほど、この地を愛し、この地の人々を愛してやまない神様の御愛をお伝えしたいと、心から思われます。

どうぞこの宣教の働きのために続けてお祈りください。

【礼拝出席者 20 名】



【祈りの課題】

1. 主が、まことの神を求める方々を起こして下さり、礼拝につながりますように。
2. イエス・キリストを信じ、救われる魂が起こされますように。
3. 月二回の「お茶っこ会」は、来年(2020年)から第一と第三金曜日になります。この働きが主に用いられますように。

クリスマスのご案内

クリスマス礼拝
12月22日(日) 午前10時30分~
※クリスマスランチ(100円)を用意しております



キャンドルサービス
12月24日(火) 午後6時~

石巻福音自由教会
石巻市三和町6-3 Q225-25-1705
牧師 高橋勝義

クリスマスチラシ

クリスマス礼拝
キャンドルサービス
のためにお祈り下さい。

クリスマスお茶っこ会

今日ダビデの町で、あなたに救いの光が
救い主がお生まれになりました。
この方こそ主キリストです。
(ルカの福音書2章11節)

クリスマス礼拝
12月22日(日) 午前10時30分より
※クリスマスランチ(100円)を用意しております

キャンドルサービス
12月24日(火) 午後6時より

Merry Christmas

石巻福音自由教会



石巻市三和町6-3
☎0225(25)1705
牧師 高橋勝義

☆石巻宣教支援会へのご支援と、お祈りを心から感謝します。